

## 多摩大学アジアダイナミズム済州島研修視察 2016・2017

An Activity Report of the Educational Visit to Cheju Island  
in Tama University Asia Dynamism Program 2016・2017

○趙 佑鎮\* 諸橋 正幸\* 金 美徳\* 石川 晴子\*  
Woojin CHO Masayuki MOROHASHI Mitoku KIM Haruko ISHIKAWA  
小西 英行\* 清松 敏雄\* 松井 晋作\*\* 黒瀬 洋\*\*\* 巴 特 尔\*  
Hideyuki KONISHI Toshio KIYOMATSU Shinsaku MATSUI Yo KUROSE Baatar  
(○代表、執筆者)

### 1. 研修の目的

現代の産業界が最高学府である大学に望むものは、時代の課題をビジネスの現場で解決できる問題解決力をもった人材の育成と、アジア・ユーラシアダイナミズムというパラダイム転換の時代を創造する志や、「地政学的知」を身に付けた人材の育成である。また、多摩大学の基本理念の一つに「国際性」がある。これら大学に課せられた使命から多摩大アジアダイナミズム済州島研修として隣国である韓国において、世界 60 カ国 5000 人以上が集う「済州平和フォーラム」(日時 2016 年 5 月 25 日～5 月 28 日、2017 年 5 月 31 日～6 月 4 日、会場宿舎 2016 年 Haevichi hotel & resort、2017 年済州国際会議場(会場)・M ステイ ホテル済州(宿舎))に参加した。済州島で 5 年連続実施しているこのアジアダイナミズム研修は、2016 年において、済州平和フォーラム組織委員会の周旋協力を得て、アクティブラーニングの一環として済州漢拏(ハンラ)大学観光日本語学科との学生交流会を開催し、その実績をもとに 2017 年において、済州漢拏大学との国際交流提携を締結するための調印式と学生交流会を、研修団代表として田村嘉浩田村学園理事長の引率のもと開催した。また、初の試みとして高大連携の一環として多摩大学目黒中学高等学校の生徒が参加した。

### 2. 2016 年度・2017 年度 研修日程及び内容

#### < 2016 年 第 1 日目 5 月 25 日(水) >

07:30 成田国際空港国際線ターミナル第 1 旅客ターミナル北ウイング出発フロアに集合  
09:45～12:25 学生 65 名と教職員 9 名が経営者訪問団と共に KE718 便にて済州国際空港へ  
14:00 済州国際会議場到着。受付後、Jeju Booyoung Hotel & Resort チェックイン。  
15:10～16:30 『東アジア観光市場の新地平：3 国協力を通じたインバウンド観光客増加』  
16:50～18:10 『感性経営：グローバルリーダーシップ哲学(日本 BE 研究所セッション)』

\* 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University

\*\* 多摩大学附属目黒高校 Meguro High School, Tama University

\*\*\* 多摩大学学生課 School of Management and Information Sciences, Student Affairs Division

18：30～19：40 統一部長官主催晩餐会（パン・キムン国連事務総長参加）

20：00～21：30 オープニング公演（オペラ歌手 ポール・ポッツ）

**< 2016年 第2日目 5月26日（木） >**

07：00 朝食ブュッフェ（ホテル1階レストランにて）

10：20～11：40 『開会式 基調演説』 パン・キムン国連事務総長・ファン・ギョアン韓国首相・村山富市元首相他

11：50～12：50 『世界リーダーセッション アジアの新秩序と協力的リーダーシップ』  
村山富市元首相、マハティール元マレーシア首相、ボルジャー元ニュージーランド総理、ゴチョクトン元シンガポール首相、エンリコ元イタリア首相、ハン・スンス元韓国首相

13：00～14：10 日中韓経営者午餐交流会

14：20～15：20 『日中韓 CEO ラウンドテーブルセッション アジアの相互協力を通じた共有価値創出（人間開発研究院セッション）』 歓迎挨拶：ウオン・ヒリョン済州島知事 発表者：鈴木静雄（株）リブラン会長、イム・スギョン韓国電力KDN 社長等

15：40～17：00 『外交官ラウンドテーブル アジアの新秩序と協力的リーダーシップ（済州平和研究所セッション）』（英語通訳のみ）

17：20～18：35 『倫理経営が危機的世界資本主義を救う（倫理研究所セッション）』

18：35～18：55 村山富市元首相 日本訪問団表敬挨拶・記念撮影

19：00～20：20 済州平和フォーラム組織委員長主催公式晩餐会

20：30～21：30 日本訪問団親睦交流会（日本経営者と多摩大生との交流）

**< 2016年 第3日目 5月27日（金） >**

07：00 朝食ブュッフェ（ホテル1階レストランにて）、チェックアウト

09：00～10：00 特別セッション ジョー・ケジャー独シーメンス会長対談  
人間開発研究院セッション（日本語同時通訳付き）

10：20～11：20 特別セッション テスラ・モーターズ共同創業者・CTO Bストラウベル  
『電気自動車をもたらす生活革命』 済州平和研究院セッション

11：40～13：00 『東アジア平和共同体の可能性と条件（1）』 済州道セッション

13：00～14：00 昼食

14：00～15：20 『より良い未来のために私が抱く夢』 ワールドカルチャーオープンセッション

16：00～15：20 済州ハンラ大学 多摩大学学生交流会準備

17：20～18：40 済州ハンラ大学 多摩大学学生交流会

『アジアの新しい秩序と協力的なリーダーシップを果たす為の日韓の若者たちの役割  
～日韓親善における文化交流を中心として～』

**<参加者>**

・多摩大学（学部生65人、教職員9人） ・済州ハンラ大学（学部生30人、教員2人）

**<オープニングセレモニー>**

- ・ジョン・イエシル観光日本語学科長の挨拶
- ・両校の学校紹介
- ・大学間記念品贈呈、済州ハンラ大学学生と本学学生間のプレゼント交換
- ・歓迎の歌 ～さくらさくら・アリアン～（済州ハンラ大学学生斉唱）

＜日韓の相互理解を深めるために＞

- ・発表①「日韓の年中行事の紹介 ～日韓の四季を通じての伝統的な行事の比較」
- ・発表②「日韓の衣食住、今昔流行物語 ～日韓の衣食住の変化や流行を比較」
- ・質疑応答      ・総括 安田震一グローバルスタディーズ学部長

19:00～20:20 閉幕式 済州国際自由都市開発センター理事長主催 晩餐会

21:00 ホテル移動・チェックイン

**＜2016年 第4日目 5月28日(土)＞**

09:00 ホテルのロビーに集合し、バスにて移動

09:10～09:40 Lee Jung-seop 美術館を視察

10:00～11:00 地元商店視察・お土産

11:30～12:30 遊覧船(場所 西帰浦)

12:00～13:30 韓国料理店にて昼食

14:00～15:00 K-POP PLAY ミュージアム

16:30 バスにて済州国際空港に到着、各自チェックイン

18:00 KE717 便にて帰国、成田国際空港へ

**＜2017年 第1日目 5月31日(水)＞**

07:30 成田国際空港国際線ターミナル第1旅客ターミナル北ウイングJTBカウンターに集合。

09:45～12:25 参加者と教職員が日本経営者訪問団と共に KE718 便にて済州国際空港へ

15:00 バス移動、M ステイ ホテル済州 チェックイン。

16:30 バス移動、済州国際会議場到着。

16:40～18:10 『4次産業革命と資本主義の未来(東京倫理法人会・多摩大学 セッション)』  
原丈人 DEFTA PARTNERS グループ 会長、チョウ・ドンソン仁川大学総  
長(司会)、ジャウ・リ長江商経営大学院(CKGSB)副総長

18:30～19:40 バス移動、会場外のレストランで食事

20:00～21:30 オープニング公演

22:00 バス移動、M ステイ ホテル済州に到着。

**＜2017年 第2日目 6月1日(木)＞**

07:00 朝食ブュッフェ(ホテル1階レストランにて)

8:30～09:00 済州国際会議場にてグループごとのミーティング

09:00～10:00 『[特別セッションI]"気候変化の機会と挑戦、より良い成長は可能なのか"]  
アル・ゴア元米国副大統領/ノーベル平和賞受賞者

10:20～11:00 『開会式 基調演説』 ムン・ジェイン韓国大統領のビデオメッセージ

11:00～12:30 『世界リーダーセッション アジアの未来ビジョン共有』

メガワティ・スカルノプトゥリ元インドネシア大統領、アニーバル・シルヴェア  
元ポルトガル大統領、ボンサルマーギーン・オチルバト元モンゴル大統領、  
イ・ホング韓国元国務総理

12:30～13:00 済州国際会議場 Tamna 耽羅 B ホールで昼食(ビュッフェ形式)

13:00～14:30 『アジア長寿企業の新価値創造と経営者哲学』(100年経営研究機構セッション)  
大高 英昭株式会社 パソナ/副会長/100年経営研究機構 副代表理事

パク・ジンソン セムピョ食品代表取締役社長  
チャン・マンギ 人間開発研究院会長  
趙佑鎮 多摩大学経営情報学部教授（司会）

14:50～16:20 『世界平和都市間 連帯方案模索』  
16:40～18:10 セッション自由参加  
18:30～20:00 バス移動、会場外のレストランで食事  
20:10～21:30 日本訪問団親睦交流会（日本経営者と多摩大生との交流）  
22:00 バス移動、Mステイ ホテル濟州に到着。

< 2017年 第3日目 6月2日（金） >

07:00 朝食ブュッフェ（ホテル1階レストランにて）  
08:00 集合・バス移動  
08:30～09:00 濟州国際会議場にて全体ミーティング  
09:00～10:00 『[特別セッション II] "デジタル時代のデモクラシー：素早く開放的な政府のための提案"』 ジャンベンサンプラセ フランス国家改革大臣  
10:00～10:20 学生交流会準備  
10:20～11:50 『日韓学生交流会セッション』

<参加者>

- ・多摩大学（学部生 32 人、院生 2 名、中高生 5 名、教員 6 人）
- ・濟州ハンラ大学（学部生 40 人、教員 4 人）

<オープニングセレモニー>

- ・金星勲濟州ハンラ大学総長 挨拶
- ・田村嘉浩理事長 挨拶
- ・鄭礼実教授 挨拶

<学生発表：日韓の相互理解を深めるために>

- ・発表① 日本の就職事情について 多摩大学学生発表
- ・発表② 日本のアニメからみる若者について 多摩大学学生発表
- ・発表③ 韓国の大学生・若者事情について 濟州ハンラ大学学生発表

<グループディスカッション：日韓相互の理解とアジア・日韓関係の未来>

1 チーム約 8～9 人（日本・韓国半数ずつ）に分け、各チームに両校教員 1 人が司会  
ファシリテーターとして参加

11:50～13:00 『Airbnb（エアビーアンドビー）アジア支部代表講演』・昼食  
13:00～14:30 『韓中日青少年交流を通じた相互理解の架橋作り』  
14:50～16:20 『韓中日の第4次産業革命を論ずる～先進国型地域協力インダストリー 4.0』  
16:40～18:10 セッション自由参加  
18:30～19:40 閉幕式 濟州国際自由都市開発センター理事長主催 晩餐会  
20:15 バス移動、Mステイ ホテル濟州に到着。

< 2017年 第4日目 6月3日（土） >

07:00 朝食ブュッフェ（ホテル1階レストランにて）  
09:00 集合・バス移動  
10:00～12:00 『濟州平和研究院訪問』



- ・ 濟州平和研究院長兼濟州フォーラム組織実行委員会委員長挨拶、質疑応答
- ・ 展示場視察 ・ 濟州平和研究院会議場でフォーラムを振り返っての研究討論会

13:00 昼食

14:00～16:00 『濟州ハンラ大学訪問』国際交流提携式、大学見学

16:00～18:00 『ロッテマート視察』

19:00～20:00 夕食

20:30 Mステイ ホテル濟州に到着。

### < 2017年 第5日目 6月4日(日) >

07:00 朝食ブュッフェ (ホテル1階レストランにて)

09:00 集合・バス移動

10:00～11:00 『天地淵瀑布 (チョンジョンポッポ) 見学』 (西帰浦)

11:00～12:00 『Trick Art Museum Korea 見学』 (西帰浦)

12:00 昼食

13:30～14:30 『濟州ガラスの城 見学』 (翰京面)

15:00 『トッケビ (お化け) 道路 見学』 (新濟州)

16:30 濟州国際空港に到着、各自チェックイン

18:30 KE717 便にて成田国際空港へ

20:30 成田空港到着 解散

### 3. 研修視察の成果－学生感想文から抜粋

(大学院2年) 新たな価値観を知り、世界のビジネスを学び、一步成長したいと思い、仕事を調整して参加した濟州平和フォーラム。経営者の端くれでもある私が、興味を持ち、実体験と重ねて共感したセッションは、「アジア長寿企業の新価値創造と経営者哲学」である。地域社会に貢献することが、会社の意義だという言葉は今後私が目指していくべき考えである。韓国老舗食品会社パク社長の「社員を不幸せにする要因を除くことが会社の安定成長に繋がる」という言葉も、意識的に実践していきたい。多摩大訪問団のためのソ・ジョンハ濟州フォーラム組織委員長講演を終えて多くの学生が意見を述べていたことに、「韓国のイメージが変わった」ということがある。本質はやはり実体験にこそあると思う。この世の中、知識は容易に手に行うことができる。生き抜く上で、大切なことは知識ではなく智恵ではなかろうか。智恵は、経験値から生まれるものであり、今回、多くの方とディスカッションができた。

(2年) 日韓学生交流会では『日韓の大学生若者事情』をテーマに『アニメから見た日本の若者』という切口で発表をした。アニメが好きという漢拏大学の生徒さんから積極的に話しかけられて、すぐに仲良くなった。フォーラム会場の近くには海と観光スポットがあり、そこへの行き方などを教えてくれた。とてもフレンドリーなので韓国の学生に良い印象を持った。日韓で問題はあがるが、互いに歩み寄れば解決する問題も多いのではないかと思う。アジアの問題についてさらに知り、考えていきたいと思える機会となった。交流の機会を作り、多くの日韓の若者がアジアについて考える世の中になる未来を作っていけたらいいと思う。

(多摩大学目黒高校1年) 田村校長先生と松井先生の引率のもと、貴重な体験をし、様々なことを学びました。アル・ゴア元アメリカ副大統領やメガワティ元インドネシア副大統領等の講

演を聴くことができました。過去に国のトップとして国を動かしていた方々の現代の問題に対する考えは、説得力があり具体的でした。特に印象的だったのが、「韓中日青少年交流を通じた相互理解の架け橋作り」というセッションです。日本人として韓国、中国との関係にはしっかりと向き合うべきだと思います。過去の戦争や事件により良好とは言いがたい関係ですが、お互い今後も協力せずにはいられない大切な国だと思います。その上で、国のトップどうしの会談だけでなく、青少年どうしの交流が重要であるということに共感しました。また、問題の認識は国によって異なり、それは、「間違い」ではなく、「違い」であるという言葉が印象に残っています。今回の体験から得たものは、これから先様々なことを考える上でも役だってくれると思います。これをきっかけに今ある多くの問題を自分から積極的に調べ、それに対して、自分なりの考えを持てるようになりたいです。

(2年) フォーラムでは著名な方々が発表をし、どれも興味深い内容でした。ノーベル平和賞受賞者のアル・ゴアによる「気候変化の機会と挑戦、より良い成長は可能なのか」という内容が印象深く、表現が上手で、多くの人にわかりやすい内容であり、環境問題というとても大きなテーマの中で自分の考えを多くの人に共感させるようなセッションでした。地球温暖化によって海水上昇、ウイルスの拡散、台風の巨大化など、こういった問題を解決するために化石燃料ではなく風力や太陽光を稼働しており、結果もでていて、という事を力強く言っていました。このような結果からこれから化石燃料に代わって風力や太陽光といったエネルギーに関する職が増えていくだろう、と先を見据えた話をしていました。最初から最後まで引き付けて離さない魅力を持ち自信あふれる発言から副大統領はここまでの人物でないといけぬのか、と尊敬しました。どのセッションも未来を考えた事を話していて、これから先自分はどのような企業に就くのがいいのかとても考えさせられました。

(2年) 一番感じたことは、世界は広いということです。自分にはまだ知らない世界が存在しているのです。壇上には著名な方々がそれぞれの国の言葉を使い意見を交換し合っていて、初めて見る光景に衝撃を受けました。語学に関心のある私にとって、フォーラムに対して特に感銘を受けた点は、言葉が異なる中で同時通訳によりリアルタイムで意見交換が行われていることでした。さらに日本語の同時通訳により聴いている私たちもその場の意見を理解し、発言できるという点でした。世界から見た日本、そして日本から見た世界を実際に肌で感じる事が出来た5日間でした。普段学校生活では絶対に体験できない貴重な充実した研修となりました。

(2年) 初めての海外であった。右も左もわからず、難しいセッションがあるので最初はとても行きたくなかった。でも私は行くことに意味があると思い、楽しんでいくことに決めた！ 難しいテーマのセッションが多かったが、聞いているうちに納得できる問題意識と解決案が沢山あることに気付いた。濟州漢拏大学との盛大な国際交流協定調印式と交流会があり、田村理事長と金総長に代表挨拶をしていただいた。現地の学生たちと色々楽しい話題を交えながら学校を案内してもらった。敷地も広く設備も充実していた。お別れするのが悲しく、韓国の若者事情が知れてよかった。濟州島は面白いミュージアムが多く、二つのミュージアムに行き、観光は楽しかった。アワビの海鮮鍋や焼き肉も美味しかった。自由時間での買物タイムは韓国の大型店の特徴がうかがえた。行くこと、体験することに意味があり、また機会があれば参加したい。

(2年) 最初、不安と楽しみでいっぱいであった。海外留学入門として趙先生に誘われて実際に行ってみると、成田空港からすでにわくわくしていて、学生同士はもちろんだが、日本の経営者や多摩大教授とも色々な話ができて、帰国するまでずっと楽しかった。濟州漢拏大学の交流

した学生は日本語が上手で、自分も英語や韓国語をさらに話せるようになり、親しい交流をしたいと思います。この研修のテーマは、日韓中の交流を通じて、アジアの政治・社会問題を解決する事である。今回の研修のように、あらゆるところで各国の人と交流を以て、アジアの平和問題を解決していける礎になってほしいと感じた。

#### 4. 済州フォーラム 2016・2017 と研修の特徴と総括

##### < 2016 年 >

- ・ グローバルスタディーズ学部生と教職員の初参加であり、過去最大の学生の参加人数となった。
- ・ 済州ハンラ大学は、実学を標榜する就職に強い大学として知られており、今後は正式の提携協定を視野に情報交換し、来年の済州フォーラムでのより充実した学生交流プログラムを企画することを、日本語学科長と協議確認した。
- ・ 済州ハンラ大学の学生は大変友好的に本学学生と接してもらい、貴重な交流体験ができた。
- ・ パン・キムン国連事務総長の正式参加で内外に済州フォーラムは注目を集めた。パン・キムン事務総長は、朝鮮半島の核危機問題と統一、アジア平和に関する示唆も積極的に行った。
- ・ 過去最大の数の首相経験者の参加により、議論も充実なものとなった。村山富市元首相は多摩大生のための激励挨拶を 15 分行い、自身の人生経験とアジア平和と日本の立ち位置について語ってもらった。

##### < 2017 年 >

- ・ 参加 5 年目である今回の研修は、これまでの教職員の経験値もあり、学生のセッション学習の誘導や引率、トラブル処理において円滑に行われた。また、5 回目の多摩大企画の日本セッションも参加人員の量と議論の内容の質において、済州フォーラムに十分な貢献をしたと評価された。
- ・ 済州フォーラム開会式基調演説でのムン・ジェイン韓国大統領のビデオメッセージは、済州フォーラムとムン大統領との関係や、注目すべきセッション紹介、核放棄を前提とする対北朝鮮政策における宥和策としての経済協力が丁寧に述べられ、パリ協定脱退以降のアメリカの動向を述べたゴア元アメリカ副大統領の演説と共にマスコミも大きく報道された。
- ・ キム・ソンファン済州漢拏大学総長とソ・ジョンハ済州平和研究院長兼済州フォーラム組織委員長は、引率代表の田村嘉浩田村学園理事長、教職員及び学生に対し、多摩大学の今後の済州島研修について日韓の民間レベルでの貴重な交流として全面的協力支援を表明した。
- ・ 高大連携の一環として多摩大学目黒中学高等学校生徒 5 名は、多摩大教員の事前学習も受け、研修期間中に大学生と交わりながら、セッション参観も集中力を持ちながら十分にこなした。Airbnb (エアビーアンドビー) アジア支部代表講演会においては、英語で質問もするなど、楽しみながら積極的に研修交流に参加した。今回の経験をもとに、田村学園内の中高生の来年度の本格的参加を検討予定である。
- ・ 多摩大生のための、ソ・ジョンハ済州平和研究院長兼済州フォーラム組織委員長の日韓関係をテーマとした講義においては、講義終了後に学生から韓国への印象が変化したという感想が聞かれた。
- ・ 国際交流提携した済州ハンラ大学は、7 学部 (看護学部、保健学部、国際観光ホテル学部、社会福祉学部、情報技術 / 建築学部、馬事学部、芸術学部) 在籍者約 5500 人であり、実



学を標榜し就職に強みを出している。充実した会議場及び教育施設と自前のホテルを有しており、来年度の濟州島研修交流における活用が期待される場所である。今回の調印を機に、濟州ハンラ大学から交換留学生1人が2017年度秋学期から派遣が決定した。



多摩大学主催セッション風景



日本経営者との懇親会



学生交流会 田村理事長挨拶



日韓学生交流会セッション



日韓学生交流会様子



濟州漢拏大学 国際交流協定調印式



4次産業革命セッション参観



ソ・ジョンハ濟州フォーラム組織委員長と田村理事長